

日本海総合病院／酒田医療センター 広報誌

あきほ

第8号

2010年11月



小牧川より増築棟を望む



救急入回



屋上ヘリポート



8月23日 知事内覧会

目次

特集「増築棟オープン」	②	増築病棟	⑤
理事長あいさつ、増築概要	②	医師異動、栄養Q & A	⑥
増築棟1階	③	トピックス	⑦
増築棟2階	④	病院からのお知らせ	⑧

2010.10.1

日本海総合病院

増築棟オープン

病床118床、手術室5室、外来診察17ブース増設
酒田医療センターの外来、救急を集約
救命救急センターを整備（来年4月から運用予定）

理事長 あいさつ



地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

理事長

栗谷 義樹

北庄内地域の急性期医療、高度医療、救急医療を担うため工事を進めてまいりました日本海総合病院の増築棟（南棟）が本年8月末に完成し、10月から診療を開始いたしました。

増築により、診療科25科、病床数は646床と県下でもトップクラスの規模の病院となりました。

酒田医療センターから「消化器内科」「整形外科」「精神科」の日本海総合病院への移動が10月に完了し、11月からは日本海総合病院がすべての外来診察、それに伴う入院、救急患者の受入れを行います。

来年4月には、屋上ヘリポートを併設した庄内地域で初となる「救命救急センター」の運用が始まります。専任の医師を配置し、24時間体制で高度医療を提供できるようにになります。また、消防の救急隊が常駐する「救急ワークステーション」も4月から運用開始します。

酒田医療センターは、安定期、回復期の医療を提供する療養病床の病院に転換し、日本海総合病院などが担う急性期医療から、在宅医療、介護・福祉部門への橋渡しの役割を担うこととなります。

今後とも、二つの病院が地域の皆様に信頼され、期待に応えられるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

増築建物の概要

鉄筋コンクリート5階建
増築床面積 15,605.61㎡
(既存との合計53,897.83㎡)

病床数 増床118床
(既存との合計646床)

外来ブース 17ブース増設
(既存との合計53ブース)

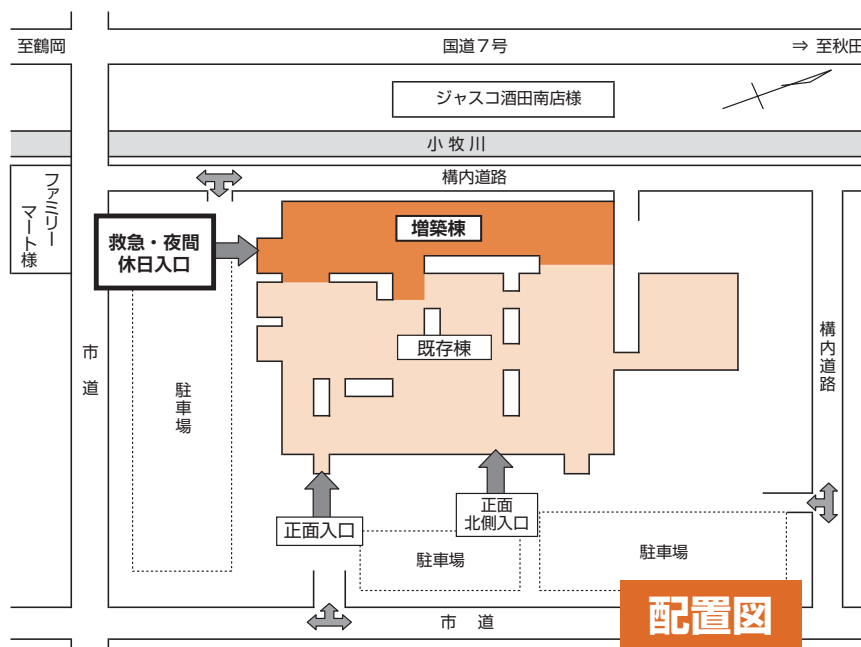
1 階
救命救急センター(23年4月開設)

外来(救急科、外科)
CT室、アンギオ室等

2 階
外来(消化器内科、産婦人科)
内視鏡室、手術室等

3～4階
病床(南病棟)

屋上 ヘリポート



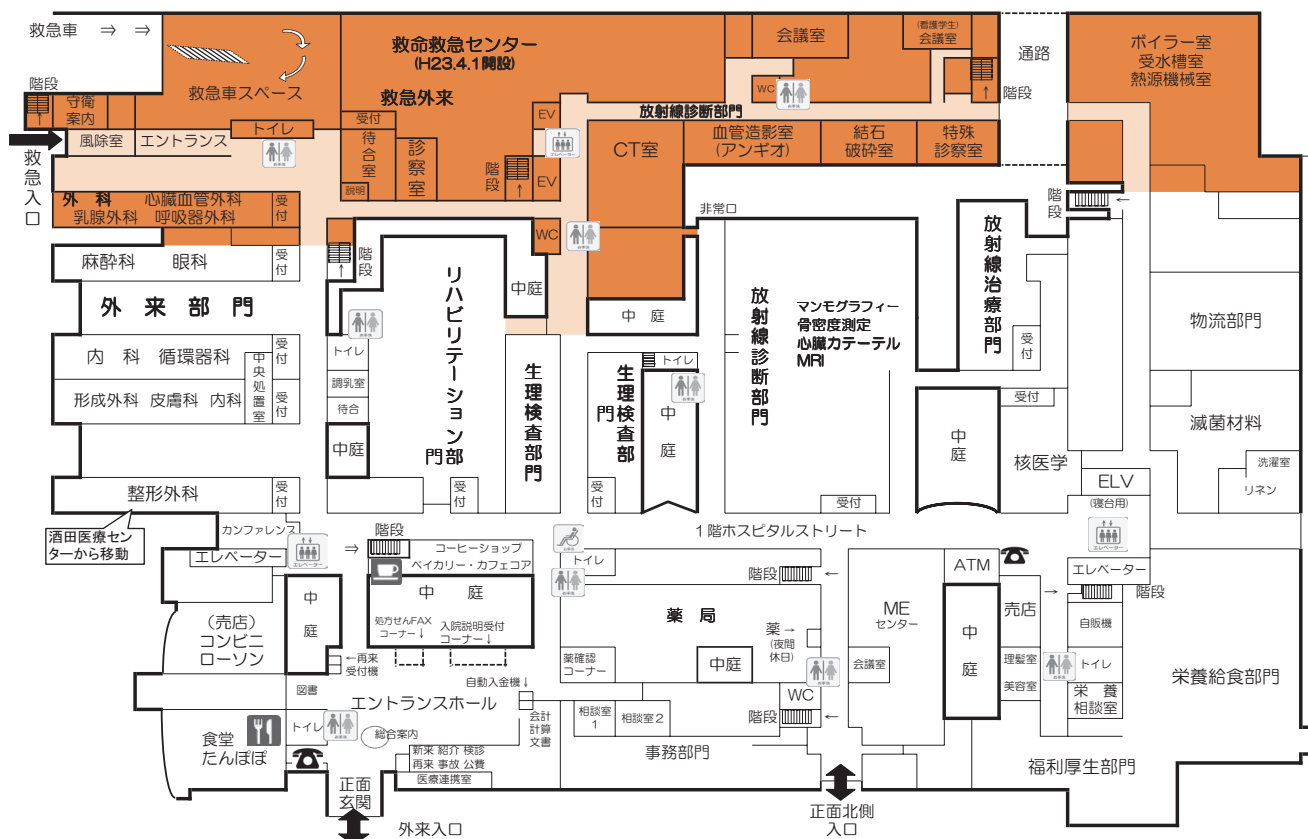
配置図

救急 夜間・休日入口が変更になりました

救急外来の移動に伴い、救急夜間休日入口を今までの正面北側から増築棟の南側(上図参照)へ変更しました。今までの救急入口は「正面北側入口」としてお見舞いの方の出入口となりますが、夜9時に施錠となりますのでご理解願います。また、増築工事期間中は構内道路の一部が通行止めとなっていました、現在は解除となっております。御協力ありがとうございました。

1階見取図

着色部分が増築部分です



救急救急センター

(23年4月運用開始)
高度治療室は現在救急外来で使
用しています。



救急車入口

救急車格納庫兼旋回スペースを
確保。風雨や雪の影響を受けま
せん。

1階

増築棟1階

外来(救急、外科)
CT、アンギオ、結石破砕室
特殊診察室
救命救急センターは23年4月運用
開始です。

既存棟1階

整形外科外来
マンモグラフィー、骨密度測定、
心臓カテーテル室
新規MRIを3月導入予定



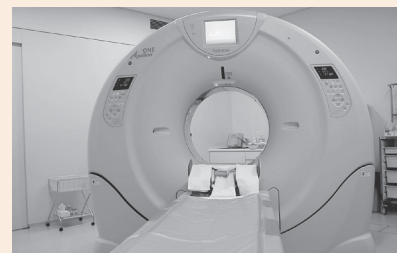
特殊診察室

サーズや新型インフルエンザな
ど、感染症の疑いのある患者さ
んからの2次感染を防ぐため特
殊診察室を設けています。



アンギオ(血管撮影)

同時に2方向から撮影可能。造影
剤の量が半になり、検査時間
も短縮されました。

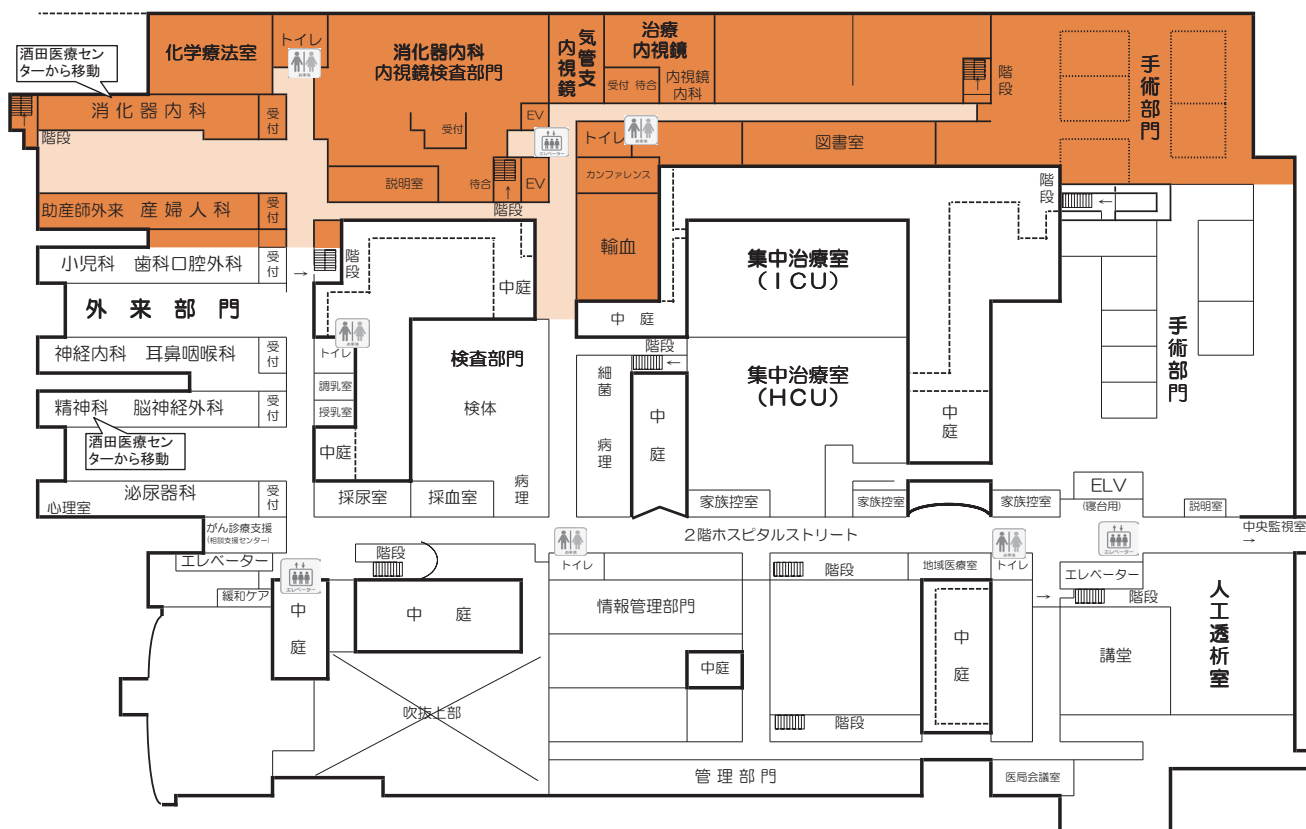


CT

320列マルチスライスCT。
0.35秒で320枚撮影可能。
被曝量も低減されました。

2階見取図

着色部分が増築部分です



内視鏡室

内視鏡室を「消化器内視鏡室(写真上)」「気管支内視鏡室」「治療内視鏡室(写真左)」の3室に拡充しました。

2階

増築棟2階

外来
化学療法室(点滴室)
内視鏡室
輸血室
手術室(5室増室)

既存棟2階

精神科外来
心理室
がん診療支援室
緩和ケア室



外来

増築棟には、消化器内科、産婦人科、助産師外来があります。



手術室

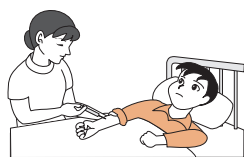
既存棟とあわせて12室になり、家族控室も2室増室になりました。



化学療法室

ゆったりとしたスペースを確保。テレビ付きのリクライニングチェア、ベッドが設置してあります。

病院立体図



救命救急
センター
《救急入り口》
外来
外来
外来



ヘリポート
4階
3階

南病棟

西病棟

東病棟

2F ICU・HCU・手術室・人工透析室
1F 薬局・リハビリテーション室・放射線部
《正面玄関入り口》

南病棟		西病棟	東病棟
4階	消化器内科	整形外科 7階	神経内科・整形外科
3階	A 消化器内科 眼科	脳神経外科・皮膚科 内科(代謝) 6階	内科(血液)・内科(腎臓)
	B 精神科 人間ドック	外科・内視鏡内科・呼吸器外科 5階	外科
		内科(呼吸器)・循環器内科 心臓血管外科・麻酔科 4階	内科(呼吸器)・泌尿器科
		小児科(未熟児)・耳鼻咽喉科 形成外科・歯科口腔外科 3階	産婦人科・小児科(乳児) 外科(女性・乳腺等)

4床室



ダイニング



病棟

南病棟は既存の西病棟と渡り廊下で接続しています。人間ドックは3階南B病棟に6床(個室、バス・トイレ付)配置しています。平成23年度から運用開始します。

個室



病室は4床室、個室とも車イス対応トイレ付です。増築棟の病室は75室。うち個室が54室(人間ドック含む)となっています。

ナースステーション



新床頭台システム(戸棚・テレビ・冷蔵庫)

増築棟のみでなく既存棟についてもすべて更新しました。テレビは地デジ対応に。インターネットやご自身の診療情報の一部も閲覧可能。床頭台の使用料は1日220円です。

床頭台



医師異動のお知らせ

◆ 転入者

(①前任地、②時間があつたらやりたいこと)

《日本海総合病院》



消化器内科
りか
① 鶴岡市立荘内病院
② デイズニールンドに行きたい



外科
こう
① 由利組合総合病院
② 10年分の子供の写真の整理



麻酔科
りょう
① 山形大学医学部附属病院
② ツーリングやスキーをしたい

◆ 転出者(①新任地)

《日本海総合病院》

内視鏡内科 大谷 節哉

① 秋田市立秋田総合病院

心臓血管外科 岡崎 敏昌

① 山形県立中央病院

◆ 酒田医療センターから

日本海総合病院への転入者

消化器内科	今泉和臣	消化器内科	鈴木義広	消化器内科	青木政則	消化器内科	吉田尚美	消化器内科	早坂高志	消化器内科	今村恵	消化器内科	赤松学	精神科	渡部俊幸	精神科	池谷龍一	精神科	渋谷直史	精神科	尾鷲和也	整形外科	尾山かおり	整形外科	針生光博	整形外科	武居功	整形外科	内海秀明	整形外科	原田幹生	整形外科	塚本重治	整形外科	山本尚生	整形外科	諏訪通久
-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-----	-------	-----	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	------	-------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

連載 栄養 Q&A



Q 自宅で介護している八三歳のおばあちゃんが、最近食事中にむせることがあります。軟らかいものや、刻んだ料理を出していますが、どのような食事にするとうまいでしょうか？

(六〇才 女性)

A 高齢になると、飲み込みが悪くなる方が多く見られます。かむ、飲み込むことが難しく、場合によっては、食べ物の間違って気管に入ってしまう(誤嚥:ごえん)、そのために肺炎を起こしてしまうこともあります。

刻んだ料理は、口の中でバラバラになって飲み込みにくく、むせる原因になることがあります。食べやすさは人それぞれで違います。一般的に次のようなことに気をつけてみてはいかがでしょうか。

のように「隠し包丁」を入れたり、食材の繊維を断ち切るように、繊維に垂直に包丁を入れたります。

《飲み込みやすくする工夫》

◆ 水分(水、お茶、味噌汁、牛乳など)にはトロミをつけると、飲み込みやすくなる場合があります。片栗粉やくず粉でも良いですが、市販の「トロミ剤(増粘剤)」を利用すると、簡単にトロミがつけます。

◆ つるりとしている食べ物がおすすです。(とろろ、卵豆腐、茶碗蒸し、豆腐、プリン、ゼリー、など)

◆ まとまりがある食べ物がおすすです。(あんかけ料理、ねぎとろ、など)

《注意が必要な食べ物》

▽ パサパサ: 焼魚、パンなど

▽ ペラペラ: わかめ、焼のりなど

▽ バラバラ: 細かく刻んだものなど



《かみやすくなる工夫》

◆ 下ごしらえで、かみ切りやす

(栄養給食室)



市民公開講座を開催

7月9日(金)日本海総合病院エントランスホールにおいて、市民公開講座を開催しました。講師は九州看護福祉大学教授加藤浩先生で、「言葉は思考を磨く」をテーマに、リハビリテーション治療に関する最新情報などをお話いただきました。一般市民や医療関係者など100名を越える参加をいただきました。



石垣靖子講演会

7月24日(土)東北公益文科大学公益ホールにおいて、北海道医療大学大学院教授石垣靖子先生をお迎えし「医療福祉連携強化事業」講演会を開催しました。「医療の本質はやさしさ」という先生の看護観、人生観についてお話をいただきました。医療・介護従事者など約200名の参加をいただきました。



酒田湊甚句流しパレードに参加

8月6日(金)酒田の夏の夜を彩る「酒田湊甚句流しパレード」に当法人2病院の職員が参加しました。参加団体中最大の300人が色とりどりの衣装に身を包み、踊りを披露しました。



増築棟完成内覧会

8月31日に日本海総合病院の増築棟が完成し、運用開始前の9月11日(土)に県・市議会議員、地区医師会会員の方々、9月12日(日)に地域住民の皆様を対象に完成内覧会を開催しました。普段見ることのできない屋上ヘリポートを始め、新棟の病室、手術室や新規導入のCT、血管撮影機などを見学いただきました。



病院からのお知らせ

職員採用試験情報

平成23年4月1日付採用職員	
受験申込 受付期間	11月4日(木)～11月30日(火)必着
試験日	12月11日(土)
試験会場	日本海総合病院
採用予定 人数	①看護師(10名) ②看護教員(1名) ③診療放射 線技師(若干名) ④臨床検査技師(若干名) ⑤社会福祉士(若干名)
合格発表	12月下旬
免許要件	①③④国家資格を有するか5月までに取得見込 みの方②看護教員養成講習会を終了かつ看護教 員経験3年以上の方⑤社会福祉士免許を有する 方
年齢要件	昭和51年4月2日以降に生まれた方 ②は昭和46年4月2日以降に生まれた方

※受験案内と申込書は当病院、酒田市役所等に配置しています。
また、ホームページ(<http://www.nihonkai-hos.jp/>)からダウンロードも可能です。

シャトルバス「げんきGO」の運行

日本海総合病院と酒田医療センターの病院間無料シャトルバス「げんきGO」は、医療センターからの外来診療科移動後も変わらず運行いたします。

酒田医療 センター発	日本海 総合病院着	日本海 総合病院発	酒田医療 センター着
8:30	8:45	8:55	9:10
9:20	9:35	9:45	10:00
10:10	10:25	10:35	10:50
11:00	11:15	11:25	11:40
11:50	12:05	12:15	12:30
12:40	12:55	13:05	13:20
13:30	13:45	13:55	14:10
14:20	14:35	14:45	15:00
15:10	15:25	15:35	15:50
16:00	16:15	16:25	16:40

インフルエンザ予防接種のお知らせ

日本海総合病院では、通院中の患者さんにインフルエンザ予防接種を行っています。

○小児

期間 平成22年12月20日までの毎週月曜日
時間 午後2時～午後4時
対象 当院に通院中の1歳～小学6年生まで
料金 1回目3,000円 2回目2,500円
紹介予約窓口(Tel.0234-26-2001内線1810)で
予約をお願いします

○一般・高齢者

期間 平成22年12月28日まで
時間 ①午前9時～正午 ②午後2時～午後3時
対象 当院に通院中の方
料金 1回目3,000円 2回目2,500円
65歳以上の方で市町からの補助券がある場合は1,500円
接種希望の方は、各科ブロック受付へお申出ください。
※酒田医療センターでは接種を行っていません。

地域がん診療連携拠点病院（日本海総合病院） 市民公開講座(緩和ケア講演会)のご案内

順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授、樋野興夫（ひのおきお）氏を講師に迎え、『がん哲学外来－医療の隙間を埋める、偉大なるお節介－』と題して、緩和ケア講演会・市民公開講座を開催します。がんであっても笑顔を取り戻し、自分の人生を生きることが出来るよう、その支援に努める「がん哲学外来」の開設者、樋野医師によるご講演です。

日 時 12月4日(土) 15時～17時
場 所 玉姫殿ホテルサンルート酒田
入場無料 参加申込は不要です
問 合 せ 日本海総合病院医事課
TEL 0234-26-2001(代)

質問等は電子メール
kanwacare@nihonkai-hos.jpまで
お願いします。(11/25まで受付、
当日いくつかを回答します)



編集後記

長かった夏も終わりようやく訪れた秋。紅葉を楽しむドライブでも…と思っていたら、鳥海山が雪化粧したとの報せが届きました。夜になると、北から渡ってきた白鳥の鳴き声も聞こえてきます。季節の実りを楽しむのもそこに、急ぎ冬支度に追われる今日この頃です。思い返すと、今年は春先の低温に夏の猛暑やゲリラ豪雨などなど、天気に悩まされることの多い年でした。せめて冬は穏やかに過ごしたいのですが…はたしてどうなるのでしょうか？（伊藤）

広報誌「あきほ」 第8号 平成22年11月(季刊) 発行部数：2,500部

編集発行 ● 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 広報企画委員会(事務局：法人管理部)
〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地 TEL 0234-26-2001(代表) FAX 0234-26-5114
URL：<http://www.nihonkai-hos.jp/> E-mail：kanribu@nihonkai-hos.jp
印刷 ● 株式会社 光印刷